

# 富山県南砺市 ー地域づくり協議会と協働で実施する一体的実施事業ー

市の概況(令和7年4月1時点)		
人口		45,706人
高齢化率		40.25%
後期被保険者数		11,166人
日常生活圏域数		5圏域



## 実施体制

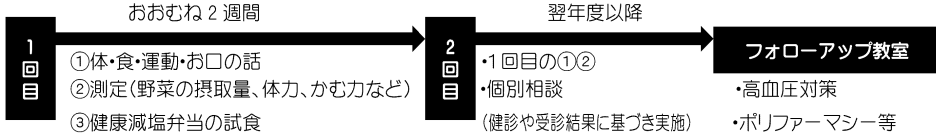


### 取組の経緯

- 平成29年：南砺市地域包括ケアセンター内に、健康課・地域包括支援センター等が集約。近隣の南砺市民病院を含め「保健・福祉・医療ゾーン」が形成。多職種連携が強化。市内全ての自治振興会で「地域づくりの勉強会」が開始。
- 平成31年：市全体で「小規模多機能自治」開始。**住民自ら地域の課題を考える環境が整備。**
- 令和4年：**一体的実施事業開始。**健康課と地域包括支援センター職員が自治振興会(地域づくり協議会)に出向き、健康課題の情報共有等実施。地域づくり協議会と「協働」でポピュレーションアプローチを開始。

## ポピュレーションアプローチ「地域でまるごと健康教室」

- 取組概要 31地域づくり協議会中、25地域実施(80.6%) 382人(R8.1月末時点)
- 開催方法：各地域にある「地域づくり協議会」と協働開催
- 役割分担：募集・案内・会場設営・ヘルスボランティア等関係者の調整(地域づくり協議会) 当日の進行・結果報告(健康課の保健師、管理栄養士、歯科衛生士、健康課兼包括支援センター作業療法士)
- 内容：2回コース



- ポイント
  - ・一体的事業開始前から、健康課の事業である「がん検診や予防接種の周知」等を地域づくり協議会の方々の協力を得て実施していたため、連絡や相談がスムーズ。
  - ・各地域の地域づくり協議会メンバーに、健康課で委嘱しているヘルスボランティア、食生活改善推進員などの健康づくりボランティアが所属しており、健康課題等の情報共有がスムーズ。地域づくり協議会の横のつながりも強く、他地域のポピュレーションアプローチを見学に来られる地域もある。
  - ・事前打合せ：事前に当日の対象者の動線や安全の確認、役割分担等をしているので、**お互い自主的**
  - ・地域づくり協議会の担当課「南砺で暮らしません課」との連携：地域づくり協議会の研修会や理事会の場で、事業説明や資料配布等協力をお願いできる環境にある。
  - ・令和7年度にパンフレットを一新(右上)。より親しみやすさを感じてもらえるように専門職の顔写真を掲載、明確で具体的な動作指示(ナッジ理論)等を明記(例年より2倍の申込に!)

### 企画調整・関係機関との連携

- 庁内連携  
健康課健康増進係、地域包括支援センターが中心となり、福祉課等と連携。小規模多機能自治の担当課の「南砺で暮らしません課」とも連携し、各地域の地域づくり協議会との協働を推進。
- 関係団体との連携  
医師会、歯科医師会⇒**検(健)診受診時などに医師が一体的実施事業を紹介。住民の事業参加への後押しを行っていただいている。**  
薬剤師会、社会福祉協議会、南砺市民病院、砺波厚生センター、富山県後期高齢者医療広域連合、富山大学、富山県立大学等

### ハイリスクアプローチ

- 低栄養、口腔、重症化予防(糖尿病性腎症)・(その他生活習慣病)、健康状態不明者の取組を実施。
- 事前の案内文書送付などは、行っていないが住民の受け入れは良好!
- 未受診者対策：市内の医療機関と連携し、健診結果や訪問時の血圧等を記した**はがきを作成**。対象者が受診する際、持参。

# 富山県南砺市

## ポピュレーションアプローチ事業「地域でまると健康教室」結果と評価概要（令和7年度結果）令和8年1月末時点

項目	担当	測定内容	正常の割合(%)		改善の割合(%)	正常とは...	状況（評価結果）	
			1回目	2回目				
血圧	・ヘルスボランティア ・保健師	血圧測定	33.3	39.2	5.9	収縮期血圧：130mmHg未満	<p>9地域づくり協議会で実施 延べ人数：327人（※1回目・2回目の両方に参加した人数） 平均年齢：78.8歳（最高齢103歳）</p> <p>1回目から2回目は、約2週間から1か月。短期間でも、<b>ほぼ全ての測定で改善</b>がみられた。 特に ・<b>開眼片足立ち(左)</b>は、<b>全員が改善</b>全ての地域で改善。 ・<b>体脂肪率のみ、改善が見られなかった。</b>次年度以降も「フレイル予防」が必要 <b>令和8年度からハイリスクアプローチの身体的フレイルを開始する予定</b></p>	
口腔	・歯科衛生士	咀嚼判定ガム	42.3	50.5	8.2	5段階評価のうち「4(かめている)」以上		
栄養	・管理栄養士	野菜摂取量測定	64.2	71.0	6.8	レベル：7.0以上		
運動	・作業療法士	体脂肪率	22.9	19.9	-3.0	男：10～19% 女：20～29%		
		5m歩行	58.0	78.0	20.0	3.6秒以内		
		握力	右	71.2	71.9	0.7		男：28kg以上 女：18kg以上
			左	64.9	66.0	1.1		
		開眼片足立ち	右	65.8	72.6	6.8		15秒以上
左	69.2		100.0	30.8				

### ①事業評価：ポピュレーションアプローチの事業評価が課題。

KDBを使用し、参加前後の比較（健診受診状況、質問票の変化、フレイル状態の変化等）をし、各地域の健康の「強み」「伸びしろ」等を確認したい。その情報を地域の方々と検討し、健康行動の実践、継続、習慣化につながる体制整備を行いたい。

### ②フレイル予防の強化：筋肉を増やし、フレイルを予防していくために「地域包括支援センター」との連携を更に強化する必要がある。

#### 2課での合同企画

- ・12/6(土)減塩フォーラム：約400人に循環器疾患の予防やフレイル予防を周知
- ・2/1(日)フレイルの日：地域包括支援センターと健康課で街頭キャンペーンを実施予定
- ・令和8年度～ハイリスクアプローチでフレイルの取組を開始予定

